



真眞
報週

内閣情報部
二月廿一日 第四百七十一号



大 陸 國 策 現 地 に 見 よ !



滿鐵鐵道總局

- 滿鐵支店
- 東京
- 同 虎ノ門滿鐵ビル
- 大阪御船安土町
- 名古屋中區榮町
- 教員前大通
- 門司税關前
- 下關駅前
- 長崎市萬屋町
- 小樽古町通
- 小樽稻穂町

紀元の佳節に 畏くも詔書渙發せらる

詔書

朕惟フニ神武天皇惟神ノ大道ニ遵ヒ一系無窮ノ寶祚ヲ繼ギ萬世不易ノ丕基ヲ定メ以テ天業ヲ經綸シタマヘリ歷朝相承ケ上仁愛ノ化ヲ以テ下ニ及ボシト忠厚ノ俗ヲ以テ上ニ奉ジ君民一體以テ朕ガ世ニ速ビ茲ニ紀元二千六百年ヲ迎フ今ヤ非常ノ世局ニ際シ斯ノ紀元ノ佳節ニ當ル爾臣民宜シク思フ神武天皇ノ創業ニ勤シ七皇國ノ宏遠ニシテ皇漢ノ雄深ナルヲ念ヒ利衷歎力益々國體ノ精華ヲ發揮シ以テ時勢ノ克服ヲ致シ以テ國威ノ昂揚ニ勤メ祖宗ノ神靈ニ對ヘンコトヲ期スベシ

御名 御璽
昭和十五年二月十一日

各國務大臣副署



この日迎へる榮ある紀元
の佳節、その感涙にも
まる民衆は東天未だ明け
やらのに早くも極原神宮
の外拜殿へ参り集ふ

日きよのこの年百六千二元紀

京 東

皇統連綿として二千六百年、世界に誇る紀元の日を、陽光燦々として清きこの朝、宮中におかれられては、天皇陛下御親祭のもとに、皇居、皇極殿、神楽殿の三殿において、紀元二千六百年紀元祭の御儀が厳かに執り行はせられたが、瑞雲機びく宮城前は明けやらのうちから霜柱を踏んで、東風が引きも切らず、聖壽の無窮を誇り奉つた。やがて「国民奉祝の時間」午前九時を告げれば、全国津々浦々は勿論、洋の内外

を問はず日章旗の翻へるところ、億国民齊しく萬邦無比の皇國に生を受けた喜びをあらたにし、戦時下一段の國威發揚を心に著つて、肅然として宮城の遙拜を行つた。またこの朝、全国の各神宮をはじめ、官國幣社以下一齊に大祭式による紀元祭が執行され、各官廳、學校、團體もこれに、佳節を誇り、全国二十萬人を動員した絢爛無比の建國祭繪巻が繰り展開られた。



の實録)

外國神社へ宛てて、多量に奉り、敬虔な感謝を述べた。

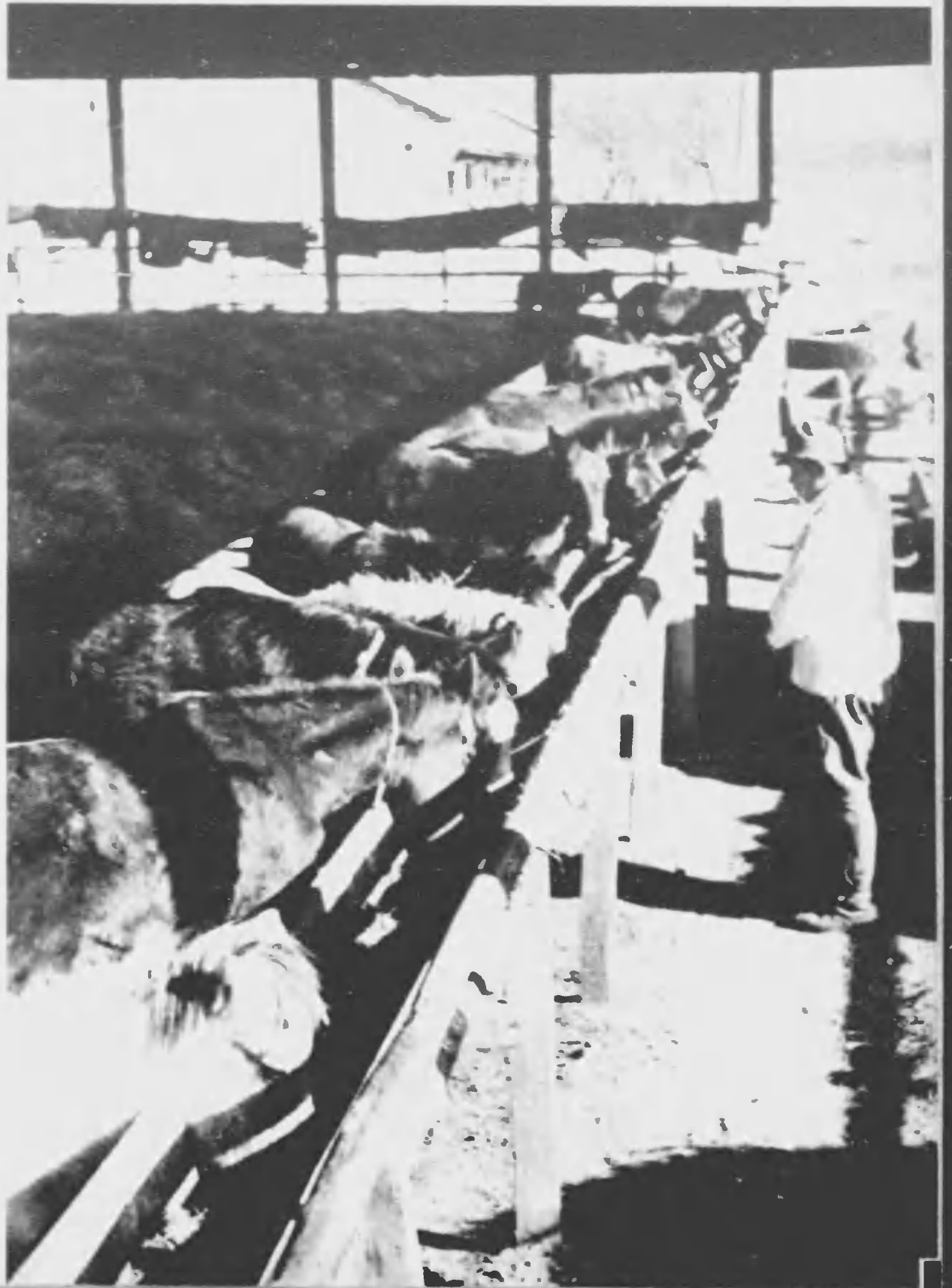
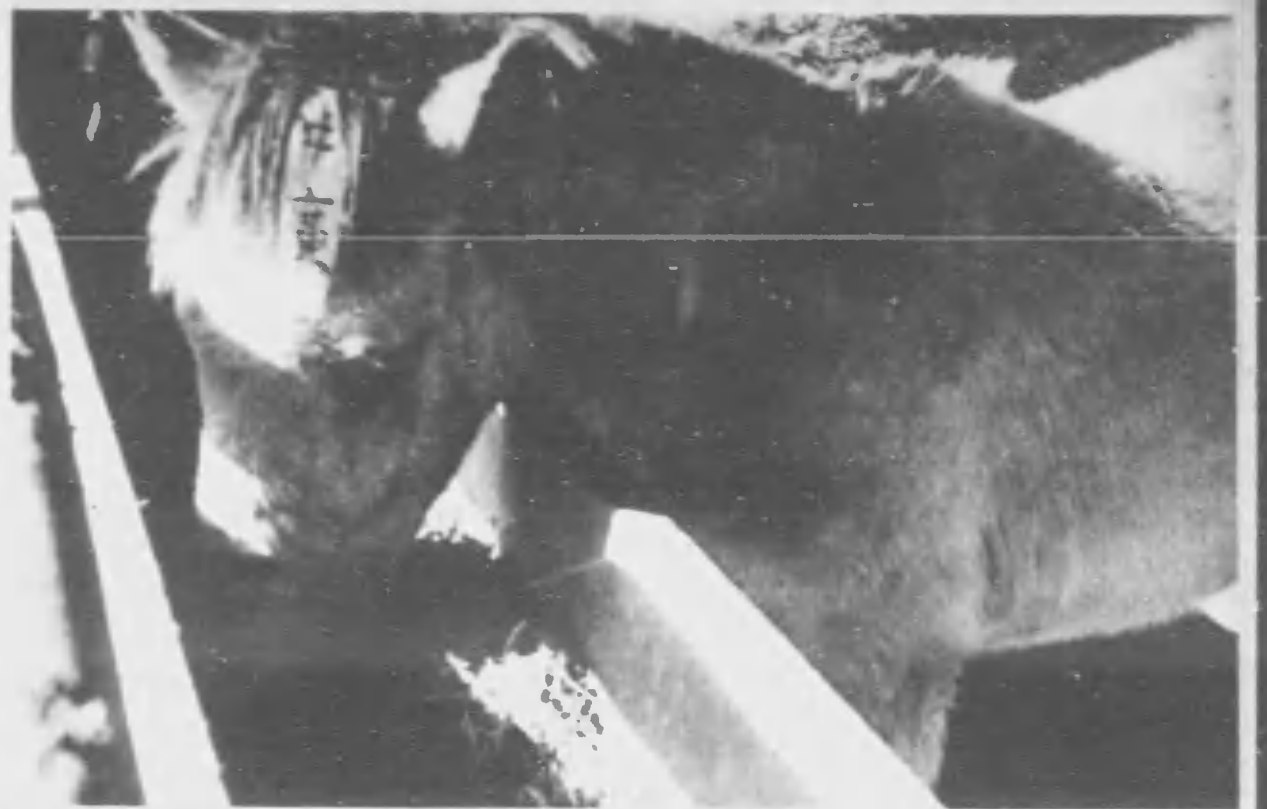
郡下大學、專門學校の若人は代々木練兵場にて、裝束式を挙げ、高らかに戦勝下の佳節を誇った。



↑ この日帝都は空、陸、水の立體的慶祝を行つた。隅田川に滿船師の五十餘隻を連ね、皇居無窮の旗を川風にためかして水上から佳節を祝した。



↓ 帝國飛行協會主催の空中式典には民間十八機が参加した。塔台者は別表を受け、いま慶祝の空に飛立つ。



砲煙の中に 生れた仔馬

美しい鉄砲煙の中で生れおきた仔馬ももう二歳になり三歳になつた。寒さは大抵ゆるんだとはいへまだ大地の凍る早春の夜明けなど部隊の勇士は可愛い赤ん坊馬に風邪を引かすまいと背にこつと



毛布をかけてキリに起きたりさへした。そんなに親身の世話をされてゐても作戦命令をうけて部隊が行軍をしなければならぬやうなとき、また母馬の乳をしやぶりしやぶりよち歩きの仔馬は、急がねばならない部隊の手足離れになつてつひに大陸の野木に懐れにも啼れてしまふこともあつた。一頭の仔馬でも大事なときである。良種の仔馬をむさりと殺したくはない。陸軍野戦補充馬廠は戦地で生れた仔馬を一頭々母馬の許から引きとつて廣い設備のととのつた牧場で専門の勇士の手で育てることにした。第一線では何といつても不自由勝ちで瘦せてゐた仔馬もこへ来てから見ちがへるほど大きくなつた。毛茸もつやつやとして廣い放牧場を縦横に駆け廻るやうになつた。成育の早いものはもうそろゝ調教もはじまつた。もうあとわずか、親馬の後を追つて第一線に勇士と共に戦へる日も近い。

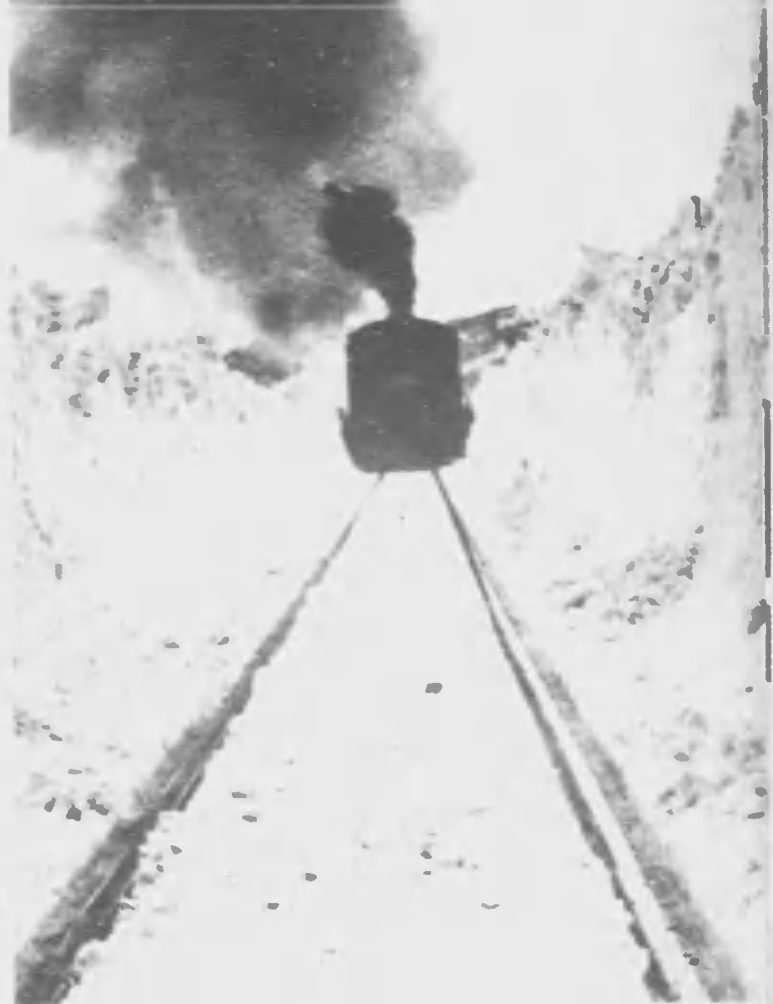
育ち方の早い仔馬にはもう調教も調教がはじめられた。中には鞍を置いて本格的な調教さへ試みられた。『子い分大きくなつたなあ、良い馬になつたぞ。』今日も放牧場を訪ねた部隊長は一頭々額をたいてその成育を喜ぶ。『トアト、トアト』まつ紅な夕陽が西の野木に沈むころは、係りの勇士が笛を吹いて呼ぶと、仔馬たちは放牧場から列を作つて歸ってくる。聯合にはおいしい晩飯が待つてゐる。



飼付の時間が来て飼料が表から運ばれてくると仔馬たちは駆足で運動場から戻つてきて楽しい勢ひでバクつく。

撮影 鈴木 實

白魔のふる人々



日本海を渡つて来た大陸の寒風が、真日本に上陸、その行方を阻む本州の中央山脈帯にぶつかつて雪となる。この簡単な自然現象によつて、日本一帯は一年のうち数ヶ月間を雪に覆はれるのである。

吹雪が積りて本格的な冬となり、雪圃の積雪はグン／＼その量を増して白魔の形相もつて地上のあらゆる交通機関を遮断してしまふ。こゝに人と自然の闘ひは除雪作業に集中される。

いろ／＼な除雪作業のなかで、車載下貨客の輸送確保に當つてゐる國有

鐵道の除雪は最も真剣であり、活潑である。鐵道省は數千萬圓の巨費を投じて雪害の防止を講じてゐるが、いまはほその被害下にある八千餘軒に亘る線路の除雪には毎年人夫百萬人を動員、數百萬圓の費用を使つてゐる。

輸送の重大使命をもつて八千餘軒を除雪して走る機械力、ラッセル、廣幅(ジロルダン)、回轉(ロータリー)、播雪(マクレー)雪播車の活躍ぶりは實に見事なものであるが、猛烈な吹雪と寒さを衝いてこの機械力に協力する鐵道従業員や除雪

人夫のシャベル、雪播、背負籠、雪掃等を用ひた除雪の苦勞は深くまじいものがある。

一月下旬から二月上旬にかけて、日本を襲つた今年の吹雪は例年にならぬ積雪量を示し、上越線、北陸本線の積雪は五米以上に及び十數年來の大雪で、日本のダイヤをめちゃ／＼にしてしまつた。その復舊をめざして雪にいとむ機械力、人力は總動員され、白魔克服の作業は日夜の別なく続けられた。

軌道を埋める白魔何物ぞ、ラッセル車の出動とともに切り開かれる軌道(右上)

努力不足を補つて、除雪部隊は鉄道を復舊の意氣に燃えて出動、背負籠で雪掃を行ふ(右下)



崖下を縫ふ軌道はなだれの恐れもあり、吹溜りもはげしい。かろいふところは俗に魔の場所と呼ばれ、吹雪やなだれを防ぐためには防雪林が設けられてある。積雪四米にも達したその軌道の除雪には、マクレー(車手前)とロータリー(車前方)が併用されてゐる。

町や村の青年團、在郷軍人、除雪組合員等出動、國鐵の除雪に協力する。毎年百萬人を動員される除雪人夫が、今年一月末で既に四十六萬人に達した。

雪掃列車。操車場や構内に後から降り積む雪の川は普通十餘位連結した無蓋車で、附近の川や築堤に捨て



ソヴェイェト風土記 (二)

東京日日新聞社 黒田乙吉

ソ聯民族の分類

ソ聯の面積は世界全陸地の六分の一を占めてゐる。人口は昨年一月の調査で一億七千四百六十七万八千八百六十六人で、これに昨年秋ポーランドの分割によつて獲得した千三百萬人を加へると、今日ソ聯の總人口は一億八千三百萬となつたわけである。

一國の人口として一億八千萬は必ずしも驚くにあたらないが、ソ聯の組成民族数が百八十餘に及ぶことは一國として他に類例がないと思ふ。いま、これ等の民族の分類大別を挙すと

- 一 白色人種 1. アーリアン系—スラヴ人(大ロシア人、ウクライナ人、白ロシア人、ポーランド人、その他)、ドイツ人、ジプシー、その他 2. セミ族—ユダヤ人 3. カウカズ山住民 4. ジョージヤ人
- 二 黄色人種 1. ウラル系—フィン族(カレリヤ人、モルドワ人、ウスチヤキ)、ロツバリ、サモエト 2. アルタイ系—タタル(トルクメン、キルギス、ヤクート、その他)、蒙古族(カルムイク、ブリヤート)、チュクチ、カムチナダー、その他

民族別の人口

昨年の調査による各民族の人口別は發表されてゐないので、一九二六年十二月の國勢調査の結果を以て結合し、自由脱産の意を保留

大ロシア七、七九一、ウクライナ三、二七一、白ロシア四、七三九、カザク三、三九六、ウズベック三、九二五、タタール二、九一七、キルギス七、六三三、カレリヤ二、四八八、ブリヤート二、三三八、である。

ソ聯の總人口は一九二六年のそれに比べて一割六分の増加だから、各民族今日の人口も

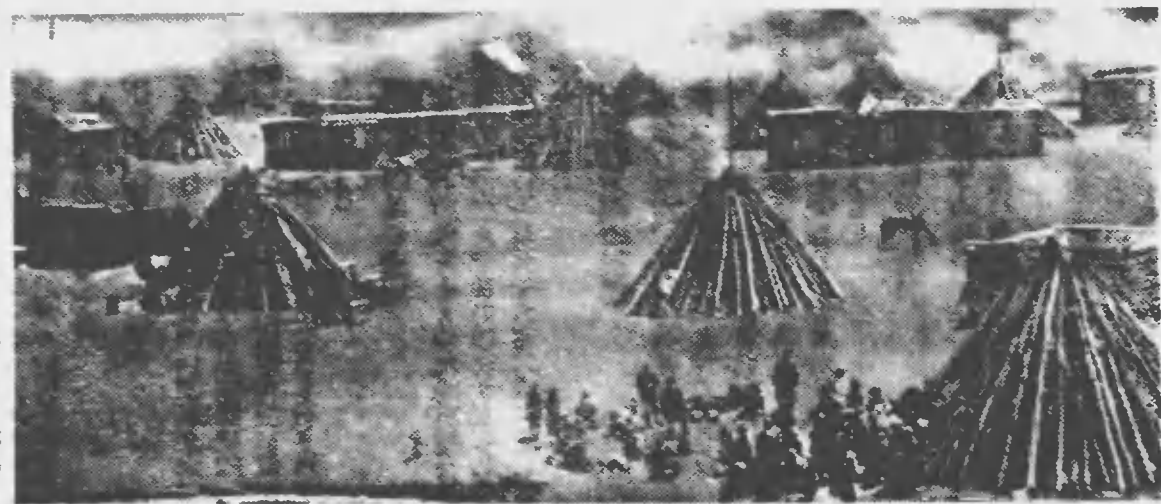


モスクワに於ける全蘇青年節の一日

雑然たる寄合世帯

ロシアの歴史は異民族征服の歴史で、この國は幾多の異民族の勢力が雑然たる寄合世帯であることはよく知られてゐる。

そのうち、大ロシア人は全國總人口の五割三を占め、文化の程度も最も高く、最優秀民族として指導的地位に居る。もとスラヴとマイノリティの混血で、顔色は薄い茶褐色、髪は濃く、眼は淡緑色といふのが最も代表的な形である。居住地方により異つたものも生じてゐる。ソ聯の最もゆる地方に分布されてゐるが、多くはロシア共和国内に住んでゐる。ウクライナ人は小ロシア人といふ。ロシア・スラヴの南方系である。カザク、ウズベック、タタール、キルギスは回教徒の系統に屬する。ひと頃日本に露寇の行商をして歩いた



アルタイ地方の山村

のは主にタタールであつた。ソ聯の組成民族スターリンは世界の単人民族と自ら誇るコーカサスのジョージヤ人である。ソ聯で最も文化の低い弱小民族は主としてアジア邊境の山岳地帯、極北地方などに住む黄色人種である。ベーリング海方面のチュクチ、カリヤキ等は全く原始的生活を今日まで續けてゐる。

このやうにソ聯の各民族は、文化の程度もピンからキリまであり、風俗、習慣も言語も皆それ／＼異つてゐる。

スターリンの民族政策

この多民族のためにソヴェイェト聯邦は十一のソヴェイェト社會主義共和國から成つてゐる。ロシア、ウクライナ、白ロシア、アゼルバイジャン、ジョージヤ、アルメニア、トルクメン、ウズベック、タヂク、カザク、キルギスがこれである。その他、これら聯邦加盟各共和國は、また連山の自治共和國、自治州を包有して

ゐる。この各民族にそれ／＼民族自治の基礎に立つ形式をとらせてゐるところにスターリン一派の民族政策がある。帝政ロシアは大ロシア中心主義に據り、種々の少数民族を壓迫し、それによつて多民族の離反を解決しようとした。スターリンはその逆を行つて、各民族の懐柔包容にこれ努力した。

することのできる規定になつてゐるが、假りに或る共和國がソ聯から脱退しようとしたとすればどうなる結果になるであらうか。中央アジア、コーカサスの各共和國、ウクライナ、白ロシアなどの聯邦からの分離運動が燃つて、それら各共和國の要路にあつた大立物に相ついで自反、法外など演じてゐる。近頃スターリンの各民族の分離運動に對する態度の峻然と知られてゐる。各共和國の住民の強

時局に露出する民族問題

ソ聯は今、かつての露領に失地回復に乗り出してゐるが、そこにはこの國の民族問題が赤裸に露出してゐる。ソ聯がポーランドに進入した理由として露言したのは、そこに居られた西ウクライナ人、白ロシア人の救済であつた。かつてソ聯の白露及びウクライナに反ソ運動、獨立運動がおこるとき、それにはいつもポーランド領内の同民族の後援隊に彼等を通しての外部との連絡が云々された。ソ聯はポーランドを分割して同方面での民族問題の一端の根を治癒したのである。



燃料節約

鈴木哲哉

五條橋決定地

筑摩鐵平

若君力草の繪

檢定は合格

内閣情報部

寫眞週報編輯室



タマゴ屋

鈴木耕輔

これ見よ、吾等が賃借しをやるから、ヨコになつちやうぢやないか。

フィンランドの次にソ聯が赤手を懸べるのはベッサラビヤだらうといはれる。そこには全人口の五割に近いモルダワ人、二割のウクライナ人がゐる。ウクライナのモルダワ自治共和國は多年手を擡げて同族の復讐をまつてゐるのだ。しかしソ聯民族問題の露骨にして重要な動きは露露方面に限られてゐると思ふものがあつた。現に極東にもブリヤート・モンゴル自治共和國と蒙古の關係の如きがあるではないか。



ソ連軍の捕虜に片づけに出る
る軍医ヘルシキの義勇隊

極寒のキアタ湖戦場に遊撃作
戦で敵を捕ますスキー連隊



雪原を愛國の血に染めて



ソ連・フィンランド戦争勃発以来、はや二ヶ月半。この間、フィンランドは舉國一致、最後の一兵まで戦ひぬき悲壯な決意で、近代科學裝備を誇り聯の大軍を向ふにまはし、巧妙且頑強、よく防戦をつまけてゐる。

ソ連はフィンランド進攻に現在百萬近い大軍と、戦車一千五百臺、飛行機二千臺とを充て、あるといはれ、一方、フィンランドは正規兵義勇團とみせて全人口の約一割、三十五萬の兵が動員されてゐるといはれる。

フィンランドの街々には激越な戦争ホスターとなげ、市民は勇躍國難に當るとしてゐる。八萬の團員を擁しわが國の國威、愛國に相當するロタ・スワード(女子青年團)團員も、防空隊員として



ウフタ地方にソ連軍と對峙する
第一線作戦本部

野戦病院にある傷病兵慰問の市
民義勇團オーケストラ



ソ連軍の進軍した捕虜隊を慰問
するフィンランド軍



又特志看護婦として男々しく活躍してゐる。カリオ芬大統領の叫ぶ通り、フィンランドに、第三國の支援がなければ、到底有利な抗戦は不可能であることを市民はよく承知してゐるが、しかも未だ寸毫も敗戦的気分が現はれないのは、單に現在降軍期であり、又湖沼地帯と森林地帯が多く、ソ連の近代科學戰術進行が困難であるなど、自然の條件がフィンランドに與してゐるためばかりであらうか。

こゝに紹介する四頁の近着フィンランド通信は、焦土抗戦の覺悟を固めるフィンランド軍の動靜(はじめの二頁)とソ連空軍爆撃のため祖國から國境をこえて同じ北歐協商國スウェーデンの同情に迎へられるフィンランド婦女の消息(後の二頁)とである。

富貴協會

雪原を愛國の
血に染めて

1 生後一ヶ月にもならない赤ん坊を臂の中にひつくとくもんでおが家を後にするフィンランドの母

2 父も兄もカレリヤの戦線に向つた。百姓の一家は雪のみ雪のまま汽車に乗る。國境の難境をさま

3 さア、もう少しの辛抱よ。船の舵とも乗船は、静しみの涙をへ忘れ、ひたすら國境の難境へ進む。北極の寒空は夏さへ凍るやう

4 5 一月十六日、フィンランドの三百十人の幼児と八十三人の母とがスウェーデンに避難してきた。宮内はお腹もへこ／＼なフィンランドの小避難者にあたまかいかいコロッケやサンドウィッチをサーヴィスするスウェーデンのロッタ・スウェーデン(女子青年團)員

注 ロッタ・スウェーデンは一八〇八年のロシア・スウェーデン戦争(この戦争によつてフィンランドはスウェーデンから獨立した)の時活躍したフィンランドの愛國女性の名からとつたフィンランドの女子青年團であるが、一九二〇年のロッタ・スウェーデンの組織を名前もそのまゝスウェーデンも採用するやうになつた



1



2



3



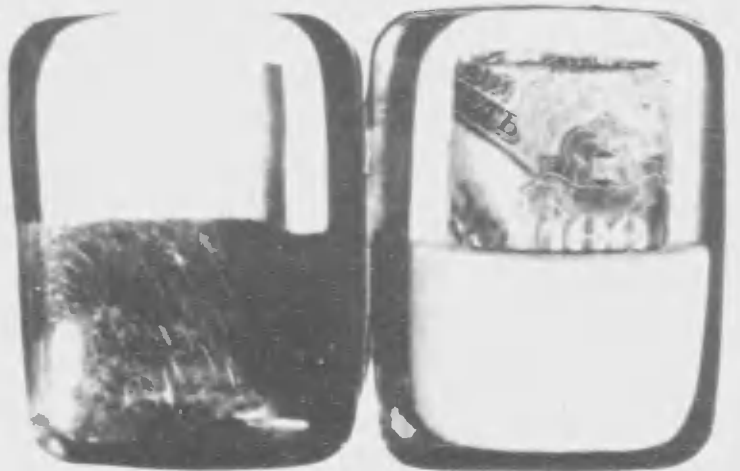
第二回 思想戦展覧會

誌上展

撮影 内閣情報部

思想戦とは何か?
 心は國家の干城である
 心が揺れば幾千の戦車も威力を失ひ
 幾萬の機銃も無駄になる
 心を攻めるのが思想戦である
 思想戦は平時も戦時も戦場でも銃後
 でも
 我々の日常生活の中に戦はれてゐる
 思想戦は武器に依らぬ戦である
 しかし總てが思想戦の武器になる
 光の弾丸
 色の弾丸
 紙の弾丸
 無形の弾丸
 我々は皆思想戦の戦士であり國運を
 背負つてゐる
 我々の心構へこそ日本の興亡を決す
 るものである

日本精神により思想戦に打ち勝つてきたわれらの祖先、寫眞は聖徳太子の御像



當局の目を鋭敏化するためごく平凡な風に見せかけ石版のなかへ巧みに赤化運動の軍資金を隠匿して連絡した一戦術

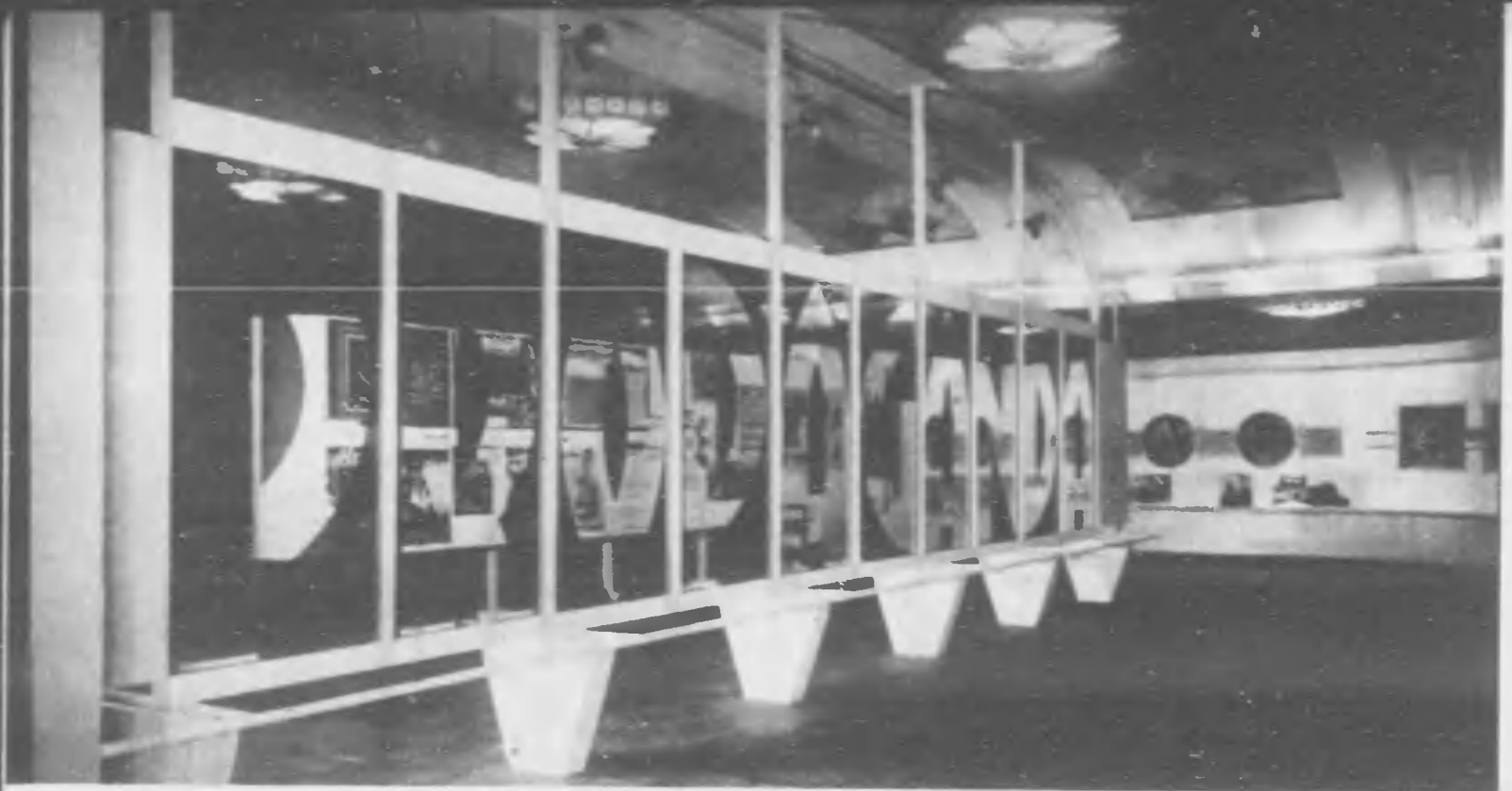
未内首相も政務多忙のなかを二月十三日わざわざ米橋、約三十分にとつて興味深げに見學した

内閣情報部主催 第二回「思想戦展覧會」は、目下東京日本橋の高島屋を会場として、戦時下國民生活の上に思想戦のいよゝ重要な所以を強調すべく開催中であり、(期間は二月十日から二十五日まで)会場には

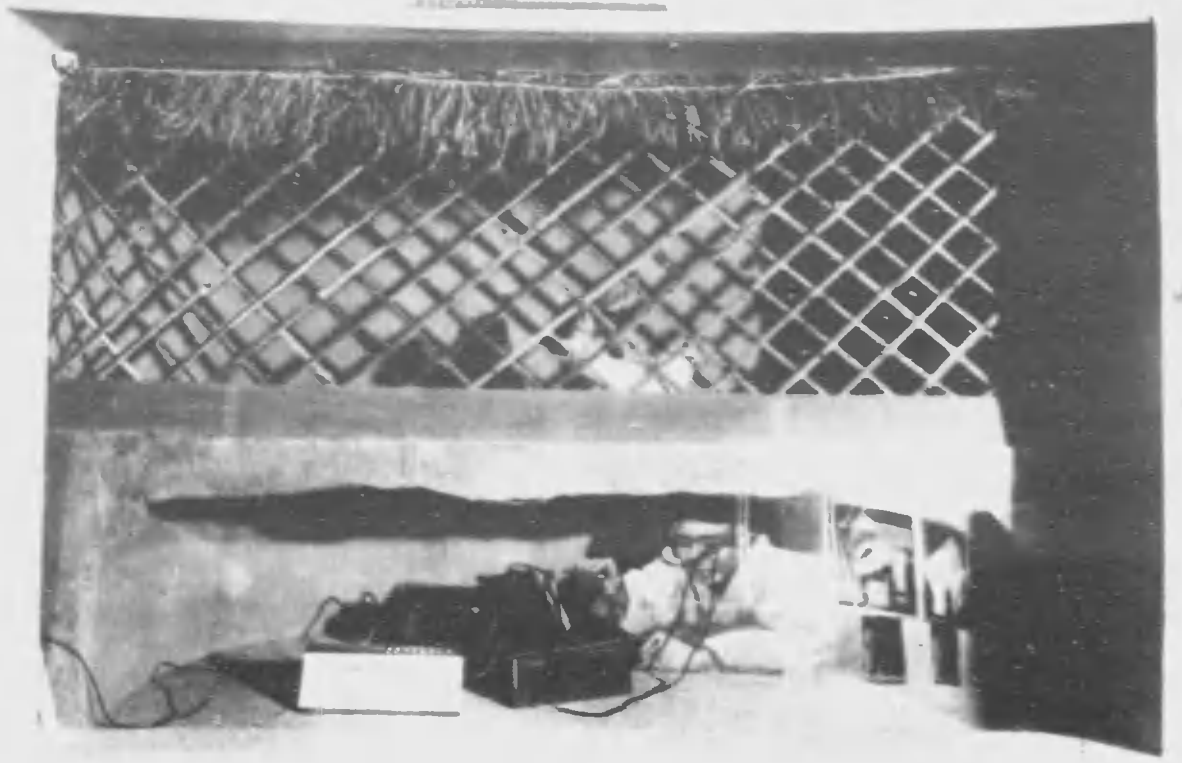
- ☆國民の一人々々が思想戦の戦士である
- ☆我々の祖先は如何にして思想戦に打ち勝つてきたか
- ☆今事變の思想戦。敵は、近代戦の花形たる思想戦を如何に撃つてゐるか
- ☆コミンテルンの魔手と闘ふ半島同胞の血に濡された思想戦
- ☆第二次歐洲大戦は我々に何を語るか
- ☆花を散らす各種の宣傳戦の實情
- ☆宣傳戦には如何なる武器が使はれるか(ナ・レイジョン、秘密郵便、高速運送機、)

の實情) 國民一人々々が活動の實踐者たれ等のテーマが判りやすくパンフレット、文庫やあるひは戦時下をくまなく資料の實物展示その他の方法によつて、一應同胞の精神的團結がどれほど大切であるかを切實に教へてゐる

蔣介石からの数々の紙の爆弾。然し皇軍將兵の前にはこんなものは笑ひを誘つたに過ぎない



会場の一隅、自らの下にさらけ出された宣傳戦のあの手、この手



かつての北鮮國境に於ける赤化分子の秘密通信。鷓小舎の下に隠れて鷓の床をつばむ音をカムフラージュにして無電のキーをた

第一線に從軍した報道の戦士も敵のデマ放送の出鱈目加減を嗅つてゐる



かぜ引かぬよう

冬です……日射しが弱り
寒さが続きます。今こそ
かぜを引かぬ強い耐寒力
を培ふときです

病菌防禦の第一線 ……それ
には脂肪
肪性の栄養を攝り、特にハリバ
て体内にビタミンA Dを豊富に
補給して、病菌防禦の第一線た

る皮膚や眼、鼻、のど、胃腸な
ど粘膜の上皮防壁を丈夫にし病
菌の侵入を阻止することです。
油塊の糖衣粒 ……ハリバ
は極めて
濃厚なビタミンA Dを油塊の
まま特許の方法で小豆大の糖衣
粒としたものです。一日たった
三粒で足り、臭くなく、胃腸に
もたれず何人も楽に服めます。

冬の保健に パツパ

百粒 二円五十銭
五百粒 十四円五十銭

内閣印刷局印刷発行

(判価「報週」・A4格規定幅はさ大の書本)